

『資料から傾向を読み取り、説明できる生徒の育成』  
～1年「資料の活用」の実践を通して～

宮崎県国富町立八代中学校 岡本 圭司 他1名

I 主題設定の理由

学習指導要領が示す「主体的・対話的で、深い学び」の実現に向けた授業改善の中では、「どのような視点で物事を捉え、どのような考え方で思考していくか」というような深い学び方をすることが求められている。

国富町の3つの中学校（八代中学校・木脇中学校・本庄中学校）の生徒の実態としては、素直で真面目であり、協調性や規範意識の高い生徒が多いものの、自ら前に出て、積極的に周囲を引っ張っていくことへの意識が低い。これは、本校と木脇中学校の2校であったとしても概ね同様のことが言えている。

そこで、本研究では、国富町がこれまで取り組んできた「教えて考えさせる授業」を基盤としつつ、生徒に授業の見通しをもたせた上で、生徒が主体的に取り組む仕掛けを講ずることに取り組んでいきたい。さらに、振り返り等での学力定着を図ることにより、「分かる・できる」を感じる授業を展開していきたい。授業に主体的に取り組み「分かる・できる」が実感できることによって、生徒に自信が付き、自分の視点で物事を考え、互いに伝え合いながら思考を深めることができると考え、本主題を設定した。

II 研究の仮説

資料が示すものが何かを自分なりの視点で捉え、考えを整理しながら相手に説明することや相手の考えを聞くことを繰り返すことによって、「説明力」を養うことができ、「説明できる生徒」を育成することができるだろう。

III 研究の内容

- 1 「教えて考えさせる授業」を基盤とした、「教える・考えさせる・個に返す(まとめ or 振り返り)」授業。
  - (1) 学習内容を教えた上で、生徒が考える時間を十分に確保する。
  - (2) 個に返す(まとめ or 振り返り)時間がある授業。
- 2 予備知識(予習)をもった上での授業。
  - (1) ワークシート等を事前に配布して予習を促し、学習内容との出会いが初めてではない形にする。
- 3 授業を再現できるための手立て。「板書の構造化」  
「ノート(メモ)の取り方」
  - (1) 板書の構造化。
  - (2) 自分や他人の考え、先生の話を残す指導。

IV 研究の実際(授業実践)

1500mの記録を参考にして、地区中学校総合体育大会(駅伝の部)のメンバーを決めよう。

資料(1500mの記録5回分)をもとに、監督の立場で理由を付けて選手を選考し、互いの意見を交換し合う授業を行った。

(資料) 1500mの記録

氏名	学年	1回目 (1月31日)	2回目 (2月28日)	3回目 (3月25日)	4回目 (4月29日)	5回目 (5月27日)
前村さん (キョウケン)	3年	5分10秒 ㊤	5分06秒 ㊤	5分05秒 ㊤	5分12秒 ㊤	5分07秒 ㊤
吉川さん	3年	5分13秒 ㊤	5分10秒 ㊤	5分24秒 ㊤	5分21秒 ㊤	5分15秒 ㊤
高倉さん	3年	5分02秒 ㊤	5分00秒 ㊤	4分56秒 ㊤	4分53秒 ㊤	4分48秒 ㊤
岡田さん	3年	5分12秒 ㊤	5分06秒 ㊤	5分02秒 ㊤	5分22秒 ㊤	5分24秒 ㊤
西原さん	3年	5分00秒 ㊤	5分18秒 ㊤	5分08秒 ㊤	5分12秒 ㊤	5分06秒 ㊤
戸高さん	2年	5分19秒 ㊤	5分15秒 ㊤	5分22秒 ㊤	5分18秒 ㊤	5分20秒 ㊤
堀江さん	2年	4分56秒 ㊤	4分58秒 ㊤	4分55秒 ㊤	5分01秒 ㊤	4分58秒 ㊤
渡さん	2年	5分20秒 ㊤	5分18秒 ㊤	5分22秒 ㊤	5分14秒 ㊤	5分13秒 ㊤
日野さん	2年	5分18秒 ㊤	5分16秒 ㊤	5分14秒 ㊤	5分10秒 ㊤	5分05秒 ㊤
中村さん	1年	〃	〃	〃	5分07秒 ㊤	5分08秒 ㊤
藤田さん	1年	〃	〃	〃	5分28秒 ㊤	5分27秒 ㊤
大澤さん	1年	〃	〃	〃	5分30秒 ㊤	5分26秒 ㊤

\* 〇の数字は順位

- 1- (1)
    - ・ 「学習のめあて」を確実に提示し、教える(伝える)べきことを丁寧に抑える。
    - ・ 「個」で考えさせ、自分の考えをもつ。
    - ・ 「集団」になり、互いの考えを交換する。
    - ・ 「個」に返し、定着を確実にする。
  - 1- (2)
    - ・ 内容を精選した、振り返りができるワークシートを作成する。
    - ・ タイマーを利用し、時間のマネジメントを図る。
  - 2- (1)
    - ・ ワークシート等を事前に配布して予習を促し、学習内容との出会いが初めてではないようにする。
  - 3- (1)
    - ・ 「めあて」「まとめ」等のプレートを使う。
  - 3- (2)
    - ・ ノートを見開きで使用し、左にワークシートを貼り、右にメモを残す。
- V 成果と課題
- アウトプット(説明すること)を意識することで、資料の読み取り方が深くなった。
  - 自分の考えを整理や、相手の考えを記録するためのノート(メモ)は、内容定着に有効であった。
  - 読み取る力の育成には、継続的訓練が必要である。